



# 9月議会

# 戦争法廃止取り上げ奮闘

9月10日の安保法制戦争法の強行採決と時を同じくして10月県議会が始まりました。高瀬議員は、10月1日の一般質問で安保法制の違憲性、強行採決で成立した違憲立法の廃止について、知事の見解をたずねました。

知事は、政府が法案を出し、国民の代表である国会の衆参両院における審議可決を経て成立したものを「安全保障政策の一義的な判断主体であります国において国民に対しての説明を続けていくべきだ」といって答弁で、安倍政権の強引な強行採決に対して、五百万国民の長年こつものをいう立場を示しませんでした。

また、日本共産党県議団は、安保法制の廃止を求める意見書を提出しましたが、他の会派の賛成が得られず、残念ながら少数決となりました。

安保法制を廃止するためには、世論と運動が不可欠です。県民とともに廃止に向けてつなぐ運動をします。



一般質問を行う高瀬県議

## 第45回 震災救援バザー

とき 10月20日(火)

14:00~15:00

ところ 徳力団地集会所



9月の「救援バザー」はたくさんの方にご来場いただき 26410 円の収益となりました。全額 関東東北の豪雨災害被災者に送りました。10月は上記日程で行います。問い合わせの多い手焼きせんべいも届く予定です。どうぞ、お立ちよりください。

## 国民連合政府をつくろう



各地の集会でアピールするたかせ県議



国民連合政府を呼びかけ 朝宣伝

戦争法は「議場騒然 聴取不能」と速記録に書かれるほどの混乱の中で強行されました。このような独裁的なやり方にますます怒りが広がっています。日本共産党は、この憲法違反の戦争法を廃止するという一点での国民連合政府の提案を行い、他の野党に選挙協力を呼びかけを行っています。

マスコミも含め、注目されているこの提案を来年の参議院選挙で必ず実らせるために奮闘します！

### つれづれに

◆先月の「つれづれに」は緊迫した中で書きましたが、その直後安倍政権は、恥ずかしいといひか言いようのないやり方で違憲の戦争法を通しました。憲法学者や弁護士、最高裁元長官までが「憲法違反」と断じているのに、全く専門家の意見を聞かない、国民が連日国会を取り囲んでいてもその声すら聞かない、民主主義のかけらもない独裁体制です。このようなやり方を許せば、日本はたちまち軍事国家です。

◆希望は、多くの国民がこの恐ろしさに気づき、強行採決後も声を上げ続けていることです。地域の運動会などで、またスーパーで買い物をしていても、「たかせさんですよ」とね。頑張ってください！

「野党共闘いいですね。参議院選入れますよ」と声がかかりました。

◆歴史の岐路に立っていると感じます。安倍政治との対決、必ず勝たねば。一人一人のゆるぎない意志こそが最大の武器。頑張りますよ！



危険な太陽光パネル(10月5日付毎日新聞)

# メガソーラーの乱開発規制を

のすぐそばで、飯塚では、土砂災害区域のすぐそばの太陽光設置が進んでいます。

特に、飯塚では、34haも開発し、山を丸ごとメガソーラーにする計画が進んであり、県が林地開発の許可を行わないよう地域住民から切実な要求が届いています。

自然を壊してメガソーラーを設置するのでは本末転倒です。国が早急に法の整備を行うとともに県で規制条例をつくることが求められます。危険な大規模開発の規制について、知事は、現在の森林法で「公益的機能は維持される」という認識を示しました。これでは自然と安全は守れません。引き続き、頑張ります。



調整池が間に合わず大量の土砂が流れる開発現場(飯塚)

福岡県は太陽光パネル設置で現在日本一です。ところが、その設置をめぐる、各地で問題が起こっています。

太陽光パネル設置には、立地規制がありません。危険区域と接していても、傾斜の急な山の斜面でも、住宅地に接していても設置できます。先日の鬼怒川の越水も、自然の堤防を削ってパネルを設置したことが原因だと指摘されています。水巻では地滑り地帯

メガソーラーで自然を壊し、住民の安全が脅かされることは許されません。法の規制を求めます



## 特別支援教育担う私学への助成充実へ

特別な支援を必要とする児童生徒は年々増え続け、支援学級はこの10年間で2倍になりました。こうした子どもたちの高校教育を保障するために私立高校が大変な尽力をしています。ところが、特別支援学校高等部の1クラス定員が9人に対して、普通学級は1クラス40人であるため、さまざまな困難を抱えています。高瀬県議は、教材教具、人的配置のための支援の充実を求めました。「適切な配慮に努める」との答弁がされました。



真島省三衆議院議員が初めて県議団控室に。「広いなあ」と第一声。一般質問を傍聴し、改めて、県の問題を国でも取り上げ、力を合わせていこうと確認。11月には政府交渉も行います。

## 決算特別委員会

10月27日～11月6日

たかせ県議が決算特別委員会の委員になりました。以下の課題について論戦する予定です。

- ★地域バスへの支援拡充
- ★国保の広域化問題
- ★鳥獣対策と竹林対策
- ★ダム開発
- ★小中一貫校
- ★メガソーラー乱開発規制

※インターネットの同時中継はありません。傍聴はできます。